

令和4年度 第3回 保土ヶ谷区障害者自立支援協議会拠点部会 事務局 会議録	
日時	令和4年 6月9日(木) 13:30~15:00
開催場所	基幹相談支援センター A室
出席者	(ほどがや希望の家) (保土ヶ谷区役所 CW) (偕恵いわまワークス) (保土ヶ谷区生活支援センター) (保土ヶ谷区基幹)
欠席者	保土ヶ谷区役所 CW, MSW
開催形態	公開(傍聴人: 名) ・ <u>非公開</u>
議題	<p>●部会の運営方法について(確認) 事例検討を中心に展開していくことで方向性は一致。 ⇒人数が多すぎれば事例検討は難しくなる。多い場合には同じ内容について2回開催などで対応できればと思う。</p> <p>●開催案(確認) ・初回: 拠点部会設置の経緯、地域生活支援拠点とはの説明 ↓ 2回目以降: 事例検討(年3~4回) 予定、参加者が多かった場合には、同一事例を二回に分けて開催、その際には時間帯をずらす等参加しやすい仕組みを作る。 2~3か月に1回程度で。</p> <p>・ZOOM併用については要検討。</p> <p>・事例を出して以降共有できる内容があれば事後の経過報告をできればと思う。 フィードバックできれば実施。</p> <p>・部会でどこまでやるか? →GHの交流会とかをどうするか?(すべて部会でやるのは日中なども入ってきて、きつくなるのでは?) →初年度で事例を中心にやるのはいいと思う。 それだけだと、拠点の機能について誤解が出てしまう、部会も事例の部会で終わらせてしまうかも。</p> <p>●事例検討の際の書式はどうするか? 各々の事業所の書式でやっていた。 →書式ではなく項目を決めてそれに落とし込んでいく。 検討用の事例なので、名前や住所など、個人情報伏せるが、改変はしない。</p> <p>●参加者について 特に制限は設けない。部会の説明を受け参加したい人に参加してもらう。</p> <p>●部会の目的について 「緊急ケースになりうる困難ケース(完全在宅や不通所、単身生活等で福祉サービス</p>

へのつながりの薄いケース)を検討し、地域課題の抽出とその解決を図る」

●初回開催について

リモート併用、場所はゆめ2階ボラ室

次第：基幹で用意

1. 拠点部会設立の経緯（基幹）
2. 地域生活支援拠点の説明（基幹）
→最後に局の方針として、「にも包括」補足程度で下村さんに？
3. 今年度の予定（基幹）
4. 自己紹介
5. 困難事例の例示（紙で個人情報伏せた形で）
 - ・母センターで計画、本人二ツ橋の事例など
 - ・知的にあるシングルマザーのケース
 - ・行動障害があつて単身生活
 - ・高齢の両親で50代の娘が引きこもっていて、臀部に褥瘡ができていたケース
両親も、透析・認知症など多問題家族
 - ・認知症の母と、その子供で母が急逝して本人も入院したが、退院後の支援が不明確なケース
 - ・7040・6030世代の方がまだサービスが埋まり切れていない状態でこれから大変になりそうなケースの方が心配
 - ・日中活動にはつながっているが、母が治療のため入院となり、本人単身では難しい状態の方をGHで体験入居として対応したケース
→GHでの経験を通してほかのGHに入居した
 - ・9060のケース、両親も本人もサービスにつながっておらず、親が無くなった際に立ち行かなくなりそうなケース
 - ・兄弟と同居しているがその生活も限界があるケース
 - ・単身生活と入退院を繰り返すケース→単身生活に戻せなくなりそうなケース

●事務局メンバーについて→光風会にも声をかける

保土ヶ谷区役所

知的身障担当 CW

精神担当 MSW

偕恵いわまワークス

ほどがや希望の家

保土ヶ谷区生活支援センター

保土ヶ谷区基幹

(計 7名 (+2名))

●事務局開催日について

第2木曜日 13:30～ 交互開催で 全体会の時間については参加メンバー次第

6月9日 事務局、7月28日(16:00～) 部会、8月18日 事務局、9月8日 部会、

10月13日 事務局、11月10日 部会 (GH交流会管理部門)、12月8日 事務局、1月12日 部会、2月9日 事務局、3月9日も開催できれば部会？

●謝礼等について (予算執行)

共有

全体で32万→12万はHPの更新費

使えるのは20万円

●次回について

次回全体会 7月28日(木) 16:00～ ゆめ2階 ボランティアルーム